

地域関係者との連携強化

各地域関係者との連携強化

江東区

地域コミュニティの強化や河川・運河の活用、ものづくり産業の活性化などの地域課題に対して、平成25年度は4つのCOCプロジェクトを始動した。平成26年度は5つ、平成27年度は9つと、連携活動を行うプロジェクトは増加している。本学の開催するCOC関連イベントについても、江東区の後援・周知等の協力を継続的にいただくとともに、平成27年度には江東区長に講演もいただいた。

江東区が主催するイベントに対しても、共催、講師の派遣、会場の提供などを行っているほか、江東区各種委員会への本学教員の参加、公開講座での江東区職員の講師派遣、地域企業の技術相談仲介、豊洲地区運河ルネサンス協議会事務局など、地域の企業や団体も巻き込んだ、多様かつ双方向的な連携を展開している。

連携活動の多様化に伴い、本学地域共創センターと江東区関連部署による包括的な情報共有・連携体制を検討中である。

港区

港区は、国際的な経済活動の中心地としての側面のみならず、歴史・文化的な建造物や大規模な高層集合住宅などの共存による景観形成の側面において、あらゆる世代における人口増加とともに発展を続けている。

本学は平成25年度にアーバンデザインスクールの公開講座を開設し、芝浦港南地区における水辺をベースにしたまちづくりプロジェクトを立ち上げるとともに、本学芝浦キャンパスの好立地を生かした研究室紹介(港区企業間連携支援事業)セミナーや本学主催のものづくりセミナーの開催を積極的におこなっている。

また、港区が主催する事業についても、地域の方々を対象とした水辺や歴史など地域資源に関する講座等に講師を派遣し、地域の魅力を伝え、繋ぎ、創る新たなコミュニティ形成を推進する人材育成の一翼を担っている。

さらに、芝浦運河祭りにアーバンデザインスクールの成果を展示したり、月例となっている芝浦海岸町会・商店会連絡協議会に毎回出席し、大学の近況を報告するとともに、港区におけるプロジェクト活動を案内し、地域との情報交換の場としている。

今後も、地域に密着した展開を継続していきたい。

埼玉県・さいたま市

平成25年度に、地域コミュニティ活性化、低炭素地域環境実現・高齢者健康向上等の地域課題解決に向けて、2件のCOCプロジェクトを開始した。その後、農業・地域企業・防災・観光・障害児福祉支援等のテーマを加えて、平成27年度には10件のCOCプロジェクトが活動中である。

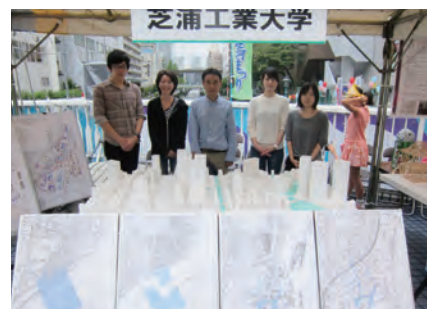
県・市職員の皆様には各種COC活動・イベントへの参画、新入生向け必修科目での特別講演、土木関連授業の特別講師等でご協力いただいている。また、産学・地域連携PBL授業の最終発表会では、毎年さいたま市長から講評・アドバイスをいただき、学生の学習意欲向上に繋がっている。

本学からも県・市の施策に基づく研究会・委員会・事業等に教職員・学生を派遣して、相互に実のある連携活動を展開中である。

今年度さいたま市とイノベーション協定を締結し、現在は来年度の埼玉県との包括協定締結に向けて準備中である。これら連携体制の確立により、益々の連携強化を図っていきたい。



COC関連イベントにおける江東区長の講演



港区との協働イベント



埼玉県職員による特別講義
システム理工学部『建設環境論』



さいたま市との間でイノベーション協定締結

江東区からのコメント

江東区と芝浦工業大学は、平成19年に包括連携協定を結び、ものづくり・まちづくりの両面において連携を図り活動しております。特に、COC事業では豊洲地区運河ルネサンス協議会での「船カフェ」など、様々なプロジェクトが展開されており、区と大学と地域の連携がさらに深化しております。

50万人都市となった本区では、新市場の移転やオリンピック・パラリンピック開催など、今後も大きな環境変化が予想されており、外国人も含めた来街者の安全・安心、おもてなしに対する活動にも期待しています。



江東区長
山崎 孝明氏

港区長からのコメント

平成21年に締結した連携協力に関する基本協定に基づき、港区と芝浦工業大学は、教育・産業振興・まちづくり等の分野において、様々な活動を行っております。

現在、港区を取り巻く環境は、あらゆる世代において人口増加の傾向にあり、また、品川駅・田町駅周辺まちづくりをはじめ、陸海空の交通ネットワークの充実など、様々な開発や取組が計画されています。

「まち」の姿が大きく変貌を遂げようと動き出している今だからこそ、住民の皆さんによる良好なコミュニティの形成を図っていくことが大切と考えております。

そのためにも、これまで築いてきた協力関係を更に強固なものとし、これまで以上に地域課題解決に向けた活動を期待しています。



港区長
武井 雅昭氏

埼玉県からのコメント

芝浦工業大学には埼玉県が進める「先端産業創造プロジェクト」への参画や「海外インターンシップ事業」への学生派遣など、様々な分野で連携していただいています。

最先端の「知」が集積し、かつ優秀な人材を擁する大学との連携は、「まちづくり」や「ものづくり」を進めていく上でとても重要です。

貴学が実施する「地（知）の拠点整備事業」の各プロジェクトを通じて、多くの課題が解決されるとともに、優秀な人材が輩出されることを期待しています。



埼玉県知事
上田 清司氏

さいたま市からのコメント

芝浦工業大学の皆様とは、これまでも様々な取り組みで連携を行っており、平成27年4月には、イノベーションに関する連携協定を締結しました。本市総合振興計画の重点戦略の1つに位置付けている「イノベーションする都市さいたま」の創造に向けて、引き続きCOC事業をはじめ多くの分野での連携を強化したいと考えています。

芝浦工業大学の知見と学生達の柔軟な発想による、新たな価値を創造するアイデアにはいつも感嘆させられています。今後も「公」と「民」の連携によって地域の社会課題を解決し、活力あるまちづくりを実現するためのパートナーとして期待しております。



さいたま市長
清水 勇人氏